

日事 知る あの

山形県知事

吉村 美栄子



一月十五日(金)

◎「食」をテーマに、銀座でPR

首都圏の農産物流通企業の関係者を招き、「食の都庄内」春の香り」流通懇談会」を開催した。

今年、本県農業の再生に向けた「元気再生戦略」を推進する年。秋には、山形県が十年の歳月をかけて開発した新しいお米「つや姫」も本格デビューする。

私も、トップセールスに努めていきたい。今日は、その第一弾、気合が入る。

舞台は東京・銀座、県のアンテナショップにあるイタリアンレストラン「ヤマガタ サンダンデロ」。懇談会では、県産農産物を評価す



山形県の新しいお米「つや姫」の評価も上々だった流通懇談会

る声や、農業振興の方向性を示唆する意見があった。「バイヤーから店員まで、みんなが惚れ込まないと商品は売れない。」という言葉が

特に心に残った。

伺った意見を、農産物の生産・販売に生かしていけるよう「今日が始まり」と決意を新たにしました。

一月二十二日(金)

◎温かい県政のために「ほのぼのトーク」

県内で活動する団体の皆様のご意見を伺う「知事のほのぼのトーク」。今日は、県看護協会の皆さん。

懇談では、認定看護師が病院で果たす役割の重要性や認定看護師としての資質を生かすための認定看護管理者養成の必要性についての話があった。また、「まちの保健室」に、看護師志望の男子高校生が



現場の声を大切にする「知事のほのぼのトーク」

グループで来てくれたという話には、とても頼もしいものを感じた。県民の命と健康を守るため、協会のさらなる活躍を期待したい。

今年度「ほのぼのトーク」を十七回行う中で、山形の新しい米「つや姫」の水田、蔵王の温泉街、フリースクールなどさまざまな現場を視察し、皆さんの熱い思いを感じ、私も元気をいただいた。(とりわけ女性は超パワフル！)

地域の活動が山形県を支えている。そこで活躍する方々の声を、できるだけお聞きし、心の通う温かい県政の実現に生かしていきたい。



県内企業の技術力は国内外で高評価

◎山形の優れたデザイン製品を表彰

県内で企画・開発された優れたデザイン製品を顕彰する「山形エクスレントデザイン二〇〇九」。今年で六回目を迎える。このたびは、多数の応募の中から、十九点の製品が選定された。

表彰式当日は、実際に選定された製品を前に、審査委員の方々と製品の開発者による意見交換が活発に行われ、ものづくりに対する作り手の熱い思いと高い技術力を再確認。今後も、山形から世界に誇る製品が次々と生み出されることを大いに期待したい。

◎第三次山形県総合発展計画 答申

山形県総合政策審議会（会長・柴田洋雄 美しい山形最上川フォーラム会長・放送大学山形学習センター所長）に諮問していた新たな総合計画について、同審議会から答申をいただいた。

答申では、「緑と心が豊かに奏であい 一人ひとりが輝く山形」を基本目標に、県民みんなで一緒になって、活力あふれる元気な山形を築いていこうという、これからの県づくりの方向性がしっかり打ち出されており、素晴らしいものをまとめていただいたと考えている。

この答申を踏まえ、今後、県議会の議決を経て、本年度中に第三次山形県総合発展計画を策定したい。

一月二十四日(日)

◎モンテディオ山形「前へ！」

国内最高峰の舞台Ｊ１リーグ二年目となる二〇一〇シーズンの開幕も目前。気持ちを新たに、サポーターと選手、そして山形県全体が一丸となって「Ｊ１定着」に挑もうと、「モンテディオ山形二〇一〇



モンテディオ山形2010 KICKOFFイベント

KICKOFFイベント」が開催された。

千四百人の参加者を前に、小林伸二監督は「勝ち点五十を取り十位以内を目指したい」と力強く決意を表明。会場は大いに盛り上がった。私も、モンテカラールのブルーのジャケットを身にまとい、力いっぱい監督・選手の皆さんを激励した。

今季のモンテのスローガンは「前へ！」とのこと。私も今年の県政運営に際し「一歩、前へ」をキーワードにしている。偶然とはいえ、同じようなキーワード。小林監督と気が合うなあとうれしく思う。

昨年は「フェアプレー賞」を受賞したモンテ。そのフェアな戦い方は子供たちに誇れるものであり、山形の心意気を示してくれた。今シーズンも熱い戦いをしてほしいことでしょう。
全国の皆さん、熱い御声援よろしく申し上げます。

一月三十日(土)

◎「関西山形県人会総会・懇親会」
～大阪にて～

関西山形県人会の総会・懇親会が開催され、本県出身者約百三十人が出席。総会では、関西で開催される本県の観光や物産イベントへの協力、各スポーツ大会への応援、大阪と山形を結ぶ航空便の利用促進などについて話し合われた。

懇親会では、私も祝辞を述べさせていただきます。Ｊ１のモンテディオ山形、選抜高校野球大会に出場する県立山形中央高校への応援や本県の新しい米「つや姫」の販路拡大への協力をお願いした。その後、出席者の皆さんと花笠音頭を一緒に踊るなど交流を深め、県人会の皆さんの郷土山形への想い、愛着を実感した一日となった。